

WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2017 8
AUG.

Design your own road

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:30~17:00 (月~金曜日)
HP: <http://whill.jp/contact>



WHILL



お客さまインタビュー

HIROKO OKA

VOLUME. 20

岡 裕子さん

姿勢が良くなった おかげで 腰痛が軽減しました。

2017年2月からご利用の岡様。

ご友人がWHILLを使われているのがきっかけで、
自費購入を決めました。

長年電動車いすを使用されてきた岡様に、
WHILLが来てからの生活について、お話を伺いました。

WHILLご利用のきっかけ

友人がWHILLを使っていて、「腰の調子がいい」と言っていたので、腰痛持ちの私もこれなら楽になるのではないかと
思い、まずは一週間レンタルをしてみました。一週間乗って
みて調子が良かったので、購入を決めました。WHILLのクッ
ションが気に入っていて、2つ購入して交互に使っています。

WHILLの気に入っているところ

毎週横浜まで電車に乗って、映画を観に行くのですが、駅員
さんがよく話しかけてくれるようになりました。いろんな人
に「カッコいいね」と気軽に話しかけられるようになったの
もうれしいです。



WHILLは重量があって安定しているので、つかまりやすく
移乗が楽になりました。シートスライドも利用することで、一
人でできることが増えました。やっぱりできることは自分で
やりたいです。充電のプラグが不便な場所にあるのでそこだ
け改善してほしいです。WHILLがもっと便利になることで、
一人でできることを増やしていけたらなと期待しています。



WHILLが来て大きく変わったこと

腰の痛みがなくなったのは、私の生活を大きく変えましたね。
寝るときとお風呂に入るとき以外は、ずっとWHILLに乗って
います。「姿勢が良くなった」と友人にも言われました。痛み
がなくなると、活動的な気持ちになりますね。
映画や演劇が好きなので、将来WHILLに乗ってニューヨーク
に行ってみたいと思っています。これからもWHILLに乗って
積極的に外へ出歩いていきたいです。



WHILL Model C 開発秘話

STORY OF MODEL C

アイデアとノウハウが詰まったこだわりのバッテリー

6月号からスタートしたWHILL Model C 開発秘話ですが、今月
号では「取り外し可能なバッテリー」について紹介します。バッテ
リーの取り外しが可能になったことで、バッテリーだけを室内に
持ち込んで充電したり、予備バッテリーを携帯して旅先で交換する
など、WHILLから見える世界は今まで以上に広がります。
また、電池容量300Wh以下のリチウムイオンバッテリーで規制に
も対応しているので、電動車いすユーザーが搭乗される場合であ
れば、バッテリーの航空機への持ち込みも可能です。バッテリー
の開発過程について、担当したエンジニアに話を聞きました。

屋外に置かれることもあるWHILL*

以前から取り外し式のバッテリーを作りたいと考えていました。バッテ
リー交換のためにお客様のご自宅に行って、どのようにWHILLが使用されて
いるかを見せていただくのですが、部屋の外に置かれているお客様もい
らっしゃいます。コンセントに繋いだケーブルを窓から出して充電されてい
る場合など、スムーズに充電ができないケースがあります。また、マンション
やアパートだと玄関先のスペースがなく、駐輪場に置かざるを得ない方も
いて、バッテリーを取り外せないことがWHILL購入のネックになっている
状況もありました。バッテリー担当者として、そういった問題を解決したい
と強く感じていました。*屋外での保管においては、雨やほこりを避けた状態での保管を推奨します。

パナソニック社の協力

Model Cのバッテリーはパナソニック社の専用設計です。リチウムイオン
バッテリーに仕様を決めた当初、どのサプライヤーから部品を供給しても
らうかは非常に重要な課題でした。
福祉用具のような絶対数も少ないマーケットで、我々のような新規の会
社は発注する単位数も多いとは言えず、質の高い部品を仕入れることは
すごく難しいことなんです。それに加え、「アプリでバッテリー状態をわか
るようにしたい」「後ろからの外観をカッコよくするためにLEDのバック
ライトを搭載したい」など、技術面でもデザイン面でも、我々は人一倍の
要望を持っています。そんななか、パナソニック社が本気になって協力し
てくれたのは、WHILLの製品そのものに魅力を感じていただけたからかと



バッテリー開発担当 佐藤 圭悟

思います。加えて、Model Aを応援してくださった皆様によって構築された、
会社としての信頼感と期待感も非常に大きい要因だと感じています。
我々の熱意に共感してくださったことで、低価格で品質の高いバッテリー
をModel Cに搭載することができました。Model Cのバッテリーには、
福祉用具のイメージにとらわれない我々のアイデアと、パナソニック社の
ノウハウが詰まっています。

「電池が切れるかも」という不安のない社会へ

外出先でバッテリーがなくなるというのは、電動車いすユーザーにとって
どれだけ致命的なことか我々もよく理解しているので、そういった不安の
ない社会を実現したいです。そのためにバッテリーの技術的な改善に取り
組むことはもちろんのこと、社会的な変革でその不安を解決していき
たいと考えています。例えば、旅先の空港などでバッテリーをレンタルでき
たり、カフェで気軽に充電できるようになったら、より電動のモビリティが
便利に楽しくなりますよね。そういったことを今後ユーザーと一緒に
進めていきたいですね。

NEWS

WHILL Model C 紹介ムービーの公開

「WHILLのある暮らし」を表現したムービーが完成
しました。恵まれた天候のなか、葉山の綺麗な海
沿いと、長野の霧ヶ峰や八ヶ岳の自然豊かな環境
で撮影を行いました。ストーリーは息子がModel
Cを誕生日に父にプレゼントするところから始まり
ます。8月中旬に弊社ホームページで公開予定です。
ぜひご覧ください。

